

本地之風光



才延

九十一叟

日靜





▲ 町の木 しだれざくら  
(昭和44年4月12日指定)



# 町章

(昭和34年2月19日制定)

作者は福岡県の城戸典弘氏で、身延町の「身」の字をかたどり、伸び行く町のすがたをあらわしたものである。

# 身延町の歌

詩曲 紫山 米山 一夫 杉本

昭和44年11月3日制定

みこは ひとつだ ーりまか こしお くてる めほし ぐうだ るこれ ーみわね やれら まばに ふむか  
 いねぜ かにそ わさよ やくぐ そしゆん えそか だのの がおわ のえた  
 きあゆ しおた ーちぎか かみな くよる のへく きいら をれし ーよめ りひご そかし いりて むみい  
 つのざい まぶや じよた くりて はしい げかの みいち はには げはお まえど しるる ああた  
 すいく ーのちま ひうし へのく きうみ ばたら うごい にえを もあひ えわら ーぞせく ふもや  
 るりく いあし ーたかん ーつれの わわわ ががが ままま ちちち みみみ ののの ぶぶぶ

D.C

一  
 翠濃く 繞る 嶺山  
 富士川や その 枝川の  
 岸近く 軒を 寄り添い  
 睦しく 励み 励まし  
 明日の日へ 希望に燃えて  
 奮い起つ わが町 身延

二  
 こだまして 法鼓 わたれば  
 胸に咲く 宗祖の教  
 仰ぎ見よ 平和の光  
 身延より 四界に 映える

愛町の 歌声あわせ  
 もりあがれ わが町 身延

三  
 花薫る 枝垂桜に  
 風そよぐ 文化の 朝  
 豊かなる 生活 めざして  
 いざや起て 生命は おどる

躍進の わが町 身延  
 たくましく 未来をひらく



▲ 身 延 町 役 場

# 名 誉 町 民



綱 脇 竜 妙 師

(昭和44年2月11日推戴)  
明治39年以来、身延深敬園々長として救らい事業ひとすじに献身されたわが国社会福祉の偉大な功労者。

(現在93才)



藤 井 日 静 師

(昭和44年2月11日推戴)  
昭和34年身延山久遠寺法主に就任以来、国際親善と平和・世界連邦建設運動に大きな足跡を残し、私学の振興にも尽くされた。

(現在91才)

三、〇〇〇メートルの上空よりわが町を見る

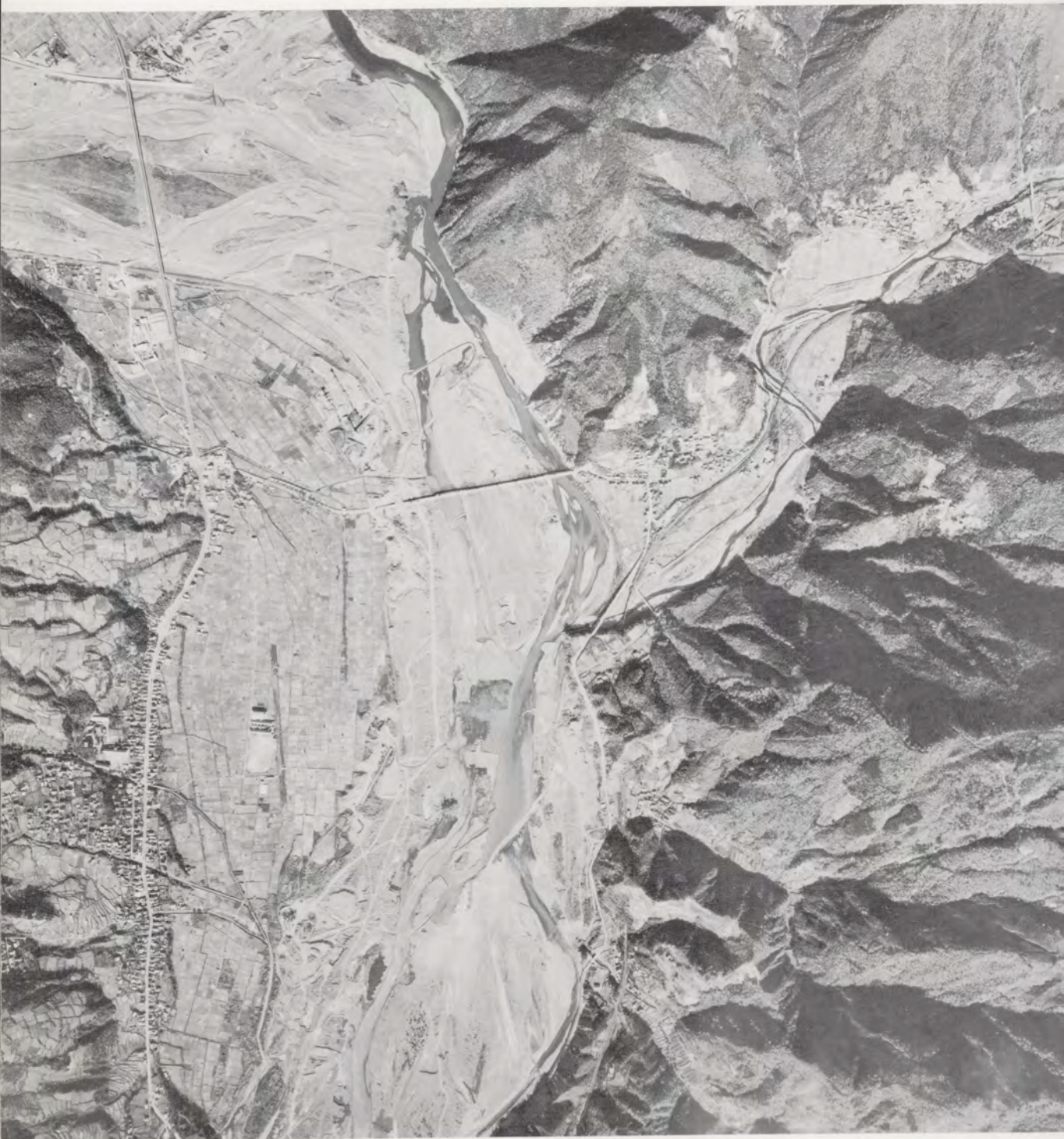


撮影 43・11・29

高度 2.930 m

カメラ RC-8 (f152.2 mm)

新早川橋付近



下山と八木沢



帯金・塩ノ沢・波木井付近



身延山と梅平付近



丸滝・角打・大野・和田付近



大島と清子



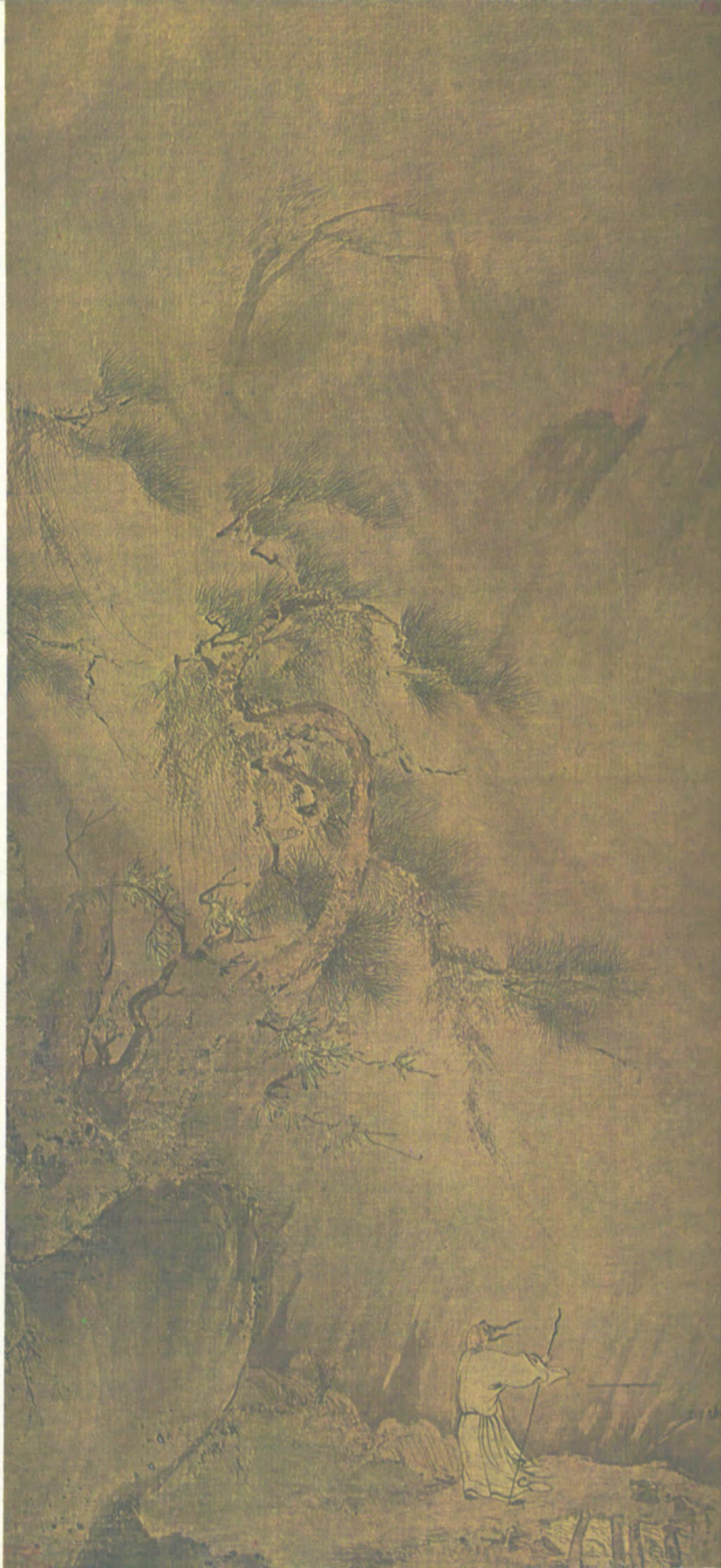
小田船原・相又と大城川流域



大城より安倍峠へ

# 町の史跡と文化財

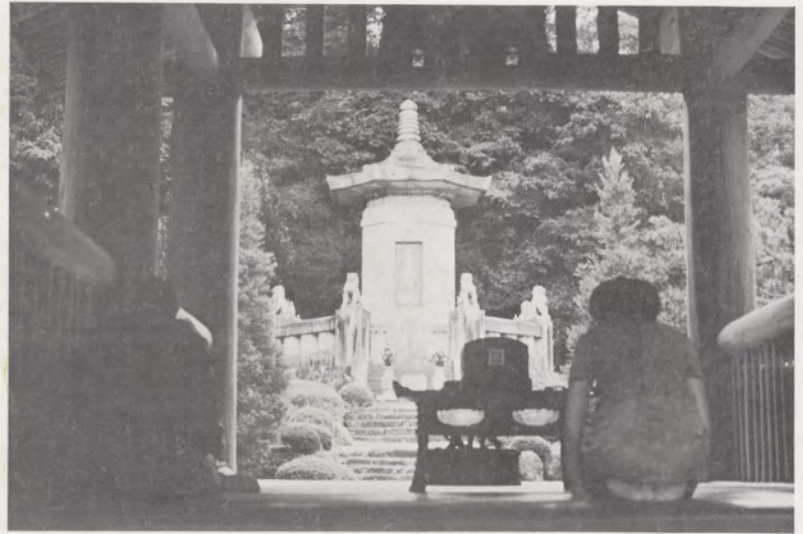
国宝・絹本淡彩夏景図（微宗筆・身延山久遠寺蔵）



史跡  
と  
建造物



▲ 日蓮聖人御廟所



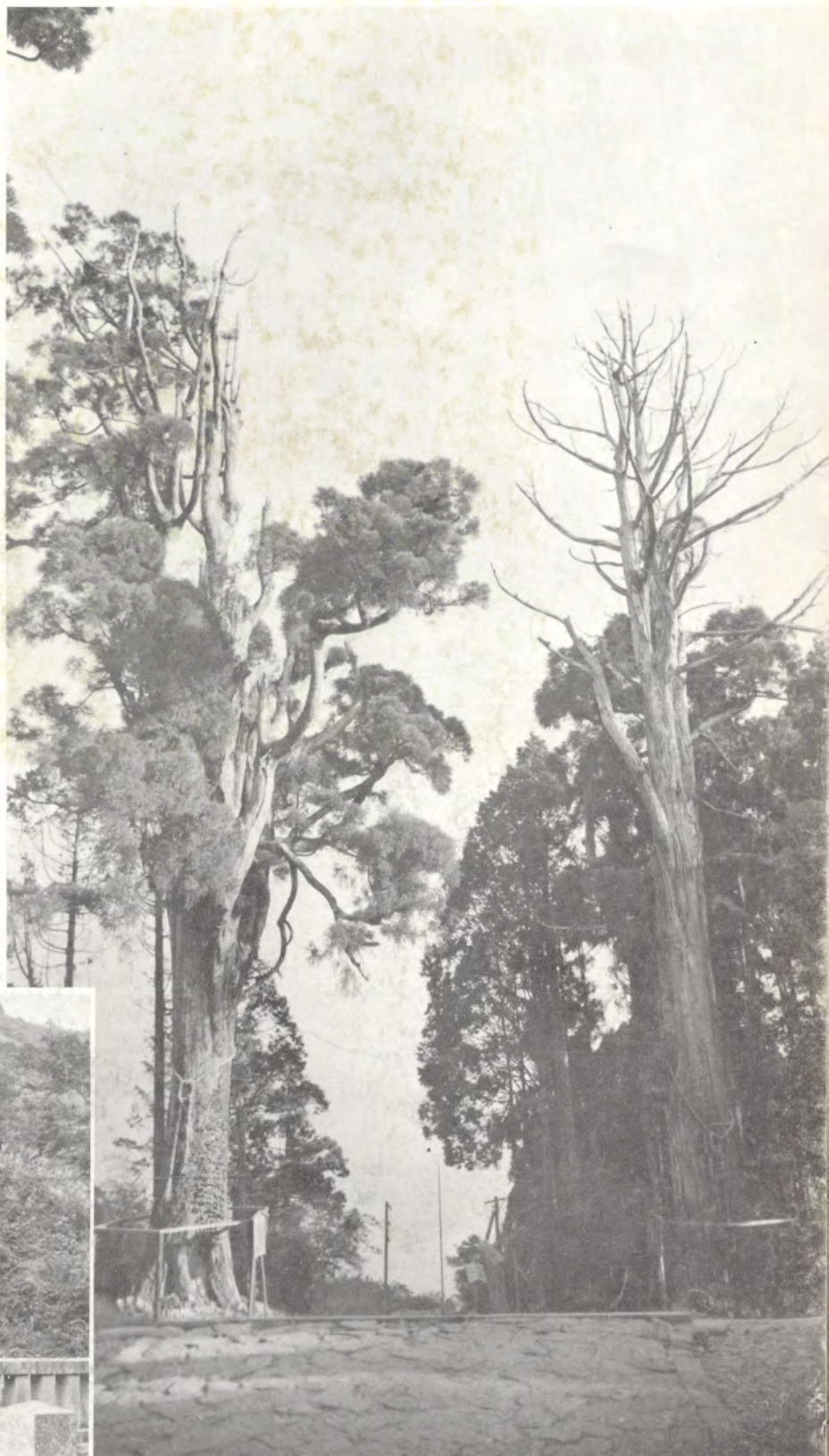
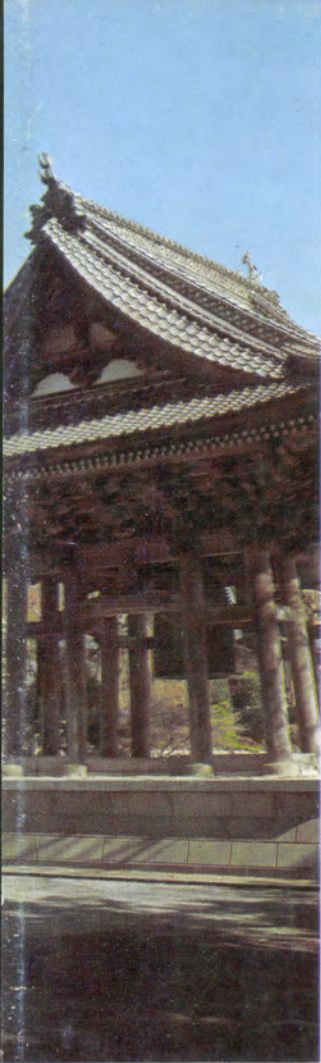
▲ 御廟塔



▼ 御草庵跡



(日蓮聖人の紋章)



▲ 養珠院殿お万の方墓所（大野山本遠寺）

▲ 日蓮聖人お手植の杉（奥の院）



▲ 久遠寺祖師堂と諸堂塔



▲ 日向上人碑 (御廟所内)



▲ 身延山総門



▲ 身延山三門

美術工芸品  
と  
文書



▲ 七面山敬慎院



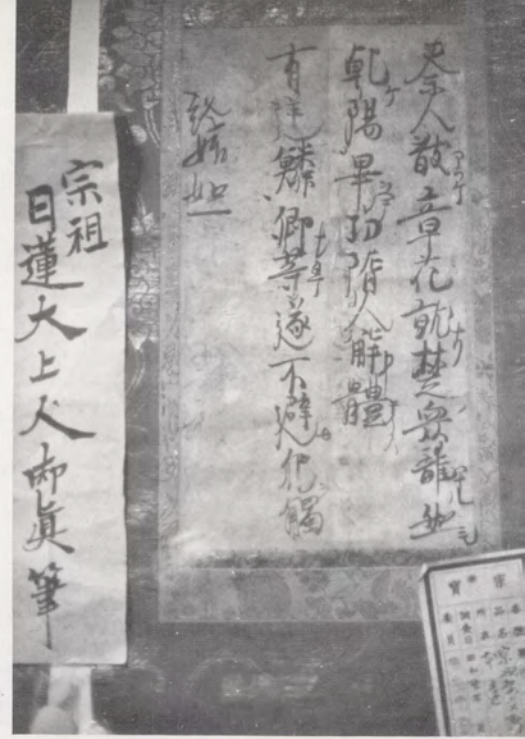
▲ 久遠寺の銅鐘 (県文化財)



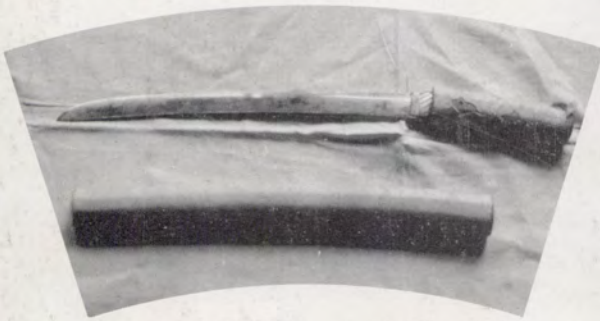
▲ 本国寺の磬 (県文化財)



▲ 本遠寺の釈迦立像



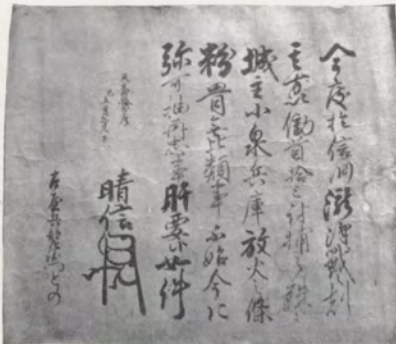
▲ 日蓮聖人御真筆 (本遠寺蔵)



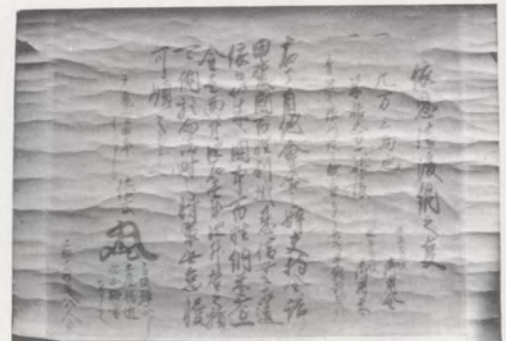
▲ 天文年間の身延の刀工広舎作の脇差



▲ 国の重要文化財 紙本墨書本朝文粹(久遠寺蔵)



▲ 信玄の感状 (古屋慶信蔵)



▲ 信玄の恩借状 (望月薫蔵)

# 天然記念物 と 出土品



▲ 上沢寺のお葉付いちよう(国指定・天然記念物)



▲ 本国寺のお葉付いちよう  
(国指定・天然記念物)



▲ 身延山上の山の千本杉(県指定・天然記念物)



▲ お葉付いちようの実



▲ 出土品（土器・大久保部落）



▲ 出土品（石器・清子丸山部落）

# 町の景観

— 躍進の町 —



▲ 町の中心部（鳥かん写真）



▲ 稔りの秋



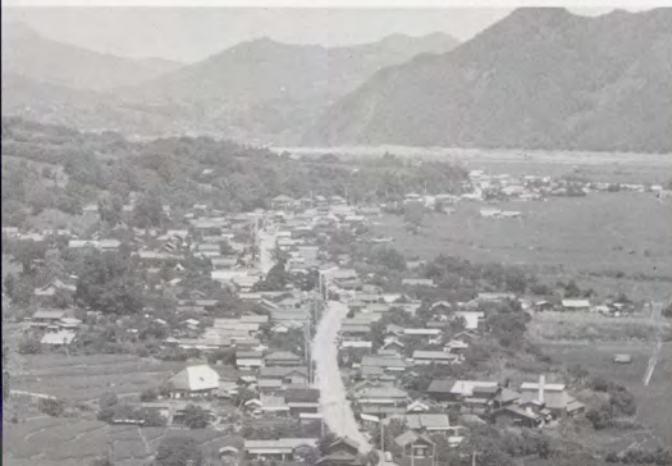
▲ 七夕飾りをした身延門前町



▲ 身延駅前の商店街

▼ 下山の町なみ

▼ 新しい動脈・新早川橋





▲ 安倍峠を経て静岡市の梅ヶ島温泉に至る  
大城林道  
近い将来の観光ルートとして発展が約束されている



▲ 梅平の商店街



▲ 大城林道



▲ 区画整理された下山地区の水田

## 町の産業

▼ 管理の行きとどいたぶどう園(波木井)





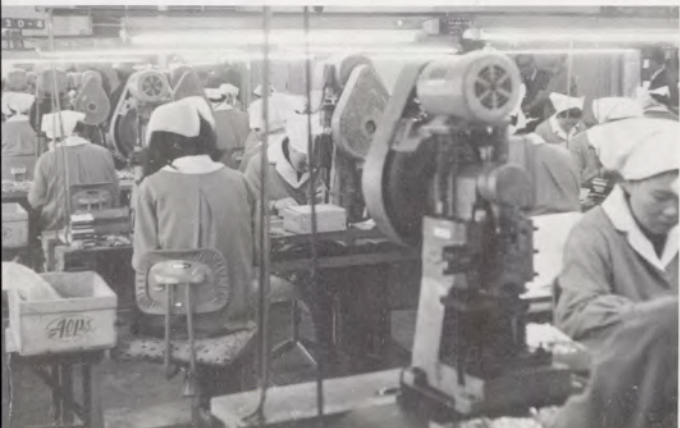
▲ 大城の製茶工場



▲ 大城のわさび田



▲ 名産しいたけの栽培状況



▲ 深三電気工場・作業風景



▲ 造林の美 (大河内地区)

## 誘致工場第一号



▲ 深三電気身延工場 (大野)

# 身延山信仰のすがた



▲ 一人笈を背負ってお詣りする信者



▲ 同上  
▼ 菩提梯を登る信者の列



▲ 百日の荒行を終えて出行する僧たち



▲ 七面山白糸の滝で水行をする信者



▼ 三門前に憩う団参信徒の一行





# 伝統ある 仏都と観光

▲ 奥の院からの眺望とロープウェイ



▲ 久遠寺除夜の鐘に集まる人々



▲ 菩提梯



▲ 西谷の風光



▲ 水鳴楼前庭



▲ 七面山頂の御来光



▲ 身延山の春

▼ 七面山の大ガレ



▲ 安倍峠と若いハイカーたち



▲ 町内の各河川は鮎・鱒等の釣場として名高い

# 町の教育



▲ 身延中学校



▲ 県立身延高等学校全景



▲ 豊岡公民館



▲ 身延山大学



▲ 身延小学校



▲ 次代を担う学童たち

# 公共機関



▲ 身延土木事務所  
▼ 身延山病院



▲ 身延電報電話局  
▼ 身延郵便局



# 災害の記録



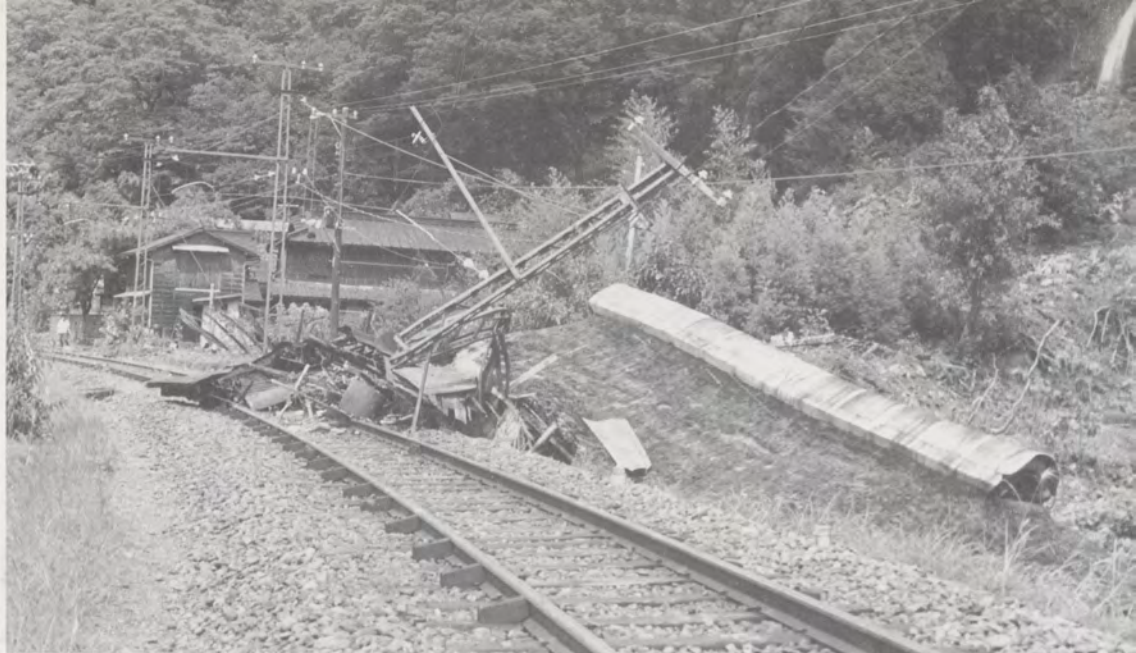
▲ 昭和34年台風7号・堤防を越えて  
大野部落を呑みこむ富士川の濁流



▲ 昭和34年・ようやく水の引きはじめた大野部落  
◀ 昭和36年の台風で流失寸前の身延橋仮橋

▼ 丸滝町営住宅の惨状(昭和41年9月・台風26号)





▲ 倒壊した丸滝沖村の民家(昭和41年9月)

▼ 水中に浮ぶ大河内中学校(昭和34年)



▲ 濁流と化した豊岡小・中グラウンド(昭和34年)

▼ 泥に埋まった民家(昭和41年)





▲ 下山大沢の氾濫で埋まった人家 (昭和41.9)



▲ 下山不動沢の氾濫 (同上)



▲ 西谷三味橋付近 (同上)



▲ 下山の農地の被害 (同上)



▲ 身延伸町通り (同上)



▲ 勝沢の氾濫による梅平の状況 (同上)



▲ 帯金金竜寺 (同上)

序